

# アークヒルズ 仙石山森タワー

所在地：港区六本木 1-9-10

登録者：森ビル株式会社ほか

- ◆ 完成年月 2012年8月
- ◆ 敷地面積 15,881 m<sup>2</sup>
- ◆ 緑地面積 3,944 m<sup>2</sup> (うち樹木面積 3,604 m<sup>2</sup>)
- ◆ URL : [https://www.mori.co.jp/company/urban\\_design/environment/urban\\_nature/c06.php](https://www.mori.co.jp/company/urban_design/environment/urban_nature/c06.php)

2012年に港区の大使館が立ち並ぶ一画に完成した「アークヒルズ 仙石山森タワー」の敷地には、周囲との連続性やまとまりに配慮して設計された約4,000 m<sup>2</sup>の緑地が広がっています。

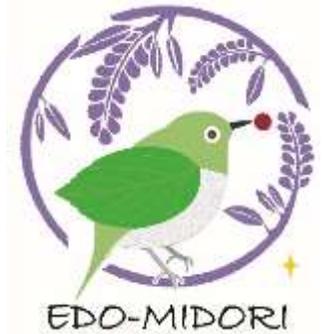
高低差のある地形や表土を活かしつつ、地域本来の植生をベースとしたスダジイやアラカシ、ヤブツバキ、エゴノキなどの多様な在来種の植物を階層的に植栽することで、その土地らしい景観をつくり出しています。

「こげらの庭」と呼ばれるエリアには、生きものに配慮した、合わせて340 m<sup>2</sup>の水辺や草地が広がるとともに、敷地全体が昆虫や鳥などの生きもののすみかや餌場となるよう、40本を超える枯れ木や空石積みによる土留め、落ち葉だめを設置するなど様々な工夫がなされています。

こうした取組の結果、2013年には、緑地整備の際の指標であり市街地では現れにくい鳥とされているコゲラが飛来したことをはじめ、2016年の調査では14種の鳥と10種の蝶が観察されるなど、多くの生きものが確認されています。



在来種に囲まれた小路



## 在来種植栽情報

### ○面積割合

高木	91 %
中木及び低木	70 %

### ○在来種の種数

高木	13 種
中木及び低木	23 種

### ○おもな樹種

スダジイ、アラカシ、タブノキ、ヤマザクラ、コナラ、エゴノキ、ヤブツバキ、ガマズミ、ヤマボウシ、マユミ ほか



こげらの庭の水辺



落ち葉だめ観察の様子

豊かな生態系が育まれている緑地は、環境教育の場としても活用されています。2013年春より、地域の子供たちとその保護者を対象とした「ヒルズ街育プロジェクト」などの場として、都心で植物・昆虫・鳥と触れ合える貴重な機会を提供しています。